

万田31号の使用法（標準）

落葉果樹

使用時期	使用濃度 (希釈倍率)	使用回数	使用方法	使用目的
発芽期～	10,000倍	10～15日おき 2～3回	葉面(樹体)散布	生育促進 環境ストレスの耐性向上
幼果期	10,000倍	15～20日おき 2～3回	葉面散布	生育促進、品質向上 環境ストレスの耐性向上
成熟期	5,000～8,000倍	15～20日おき 2回	葉面散布	品質向上 (着色・食味)
収穫直後	10,000倍	1回	葉面散布	樹勢回復

- 散布量は、10a当り300ℓ（収穫前）を基準として設定していますが、散布量が多い場合は低濃度でもお使いいただけます。
- 300ℓ以上散布する場合には濃度にこだわる必要はなく、万田31号の1回の使用量は10a当り30mlを目安としてください。

- ★本使用法は、環境条件によっては、多少の変更が必要となります。
- ★万田31号は、特殊肥料ですが、必要とする肥培管理などは十分に徹底して下さい。
- ★台風などで草勢が弱っている時には、5,000倍液を1～3日置きに2～3回連続散布する方法があります。